

鎌倉時代の京都

展示期間 令和4年2月11日(金・祝)～6月19日(日)



金属製品の鋳型
(平安京左京八条三坊六・十一町跡出土)

平安時代末期の不安定な政情の中で武士が台頭し、朝廷や平氏、源氏の勢力争いが顕在化していきました。鎌倉幕府はこのような情勢の中から相模国・鎌倉で誕生し、武家政権を樹立しました。幕府滅亡までの約150年間存続し、後に「鎌倉時代」と呼ばれる一時代を築きます。

一方、この時期の京都は、保元・平治の乱や承久の乱、度重なる飢饉により荒廃していたとされていますが、発掘調査で確認された鎌倉時代の遺構や遺物からは、経済活動が活発で、商工業は発展していたことがわかっています。その反面、鎌倉時代の庶民の暮らしについて、その様子は良くわかりません。中世の始まりである鎌倉時代が京都ではどのような時代であったのかを明らかにするため、日々の暮らしをみていく必要があります。

今回の特別展示では、鎌倉時代の「京都」を概観し、古代最後の都城である平安京から中世都市「京都」への変容について、京都市内各所で見つかった遺構と遺物で紹介します。

主な展示内容

- 武士の時代を表す武具・武器類
- 天皇・貴族のすまいの瓦
- 京内とその周辺および郊外の暮らしにまつわる土器や木製品
- 商工業の発展に関する土製品や金属製品
- 信仰と葬送に関する土器や金属製品 など

関連事業

- 文化財講座 連続講座(アスニー京都学講座)
- 2月から6月までの連続5回開催
- 会場: 京都アスニー 予約制 各日とも14時～16時

アクセス

- 市バス「今出川大宮」下車すぐ
- 市バス「堀川今出川」下車西へ徒歩2分
- 地下鉄烏丸線今出川駅から西へ徒歩10分

